

社会教育委員会議 令和5年度9月定例会 会議録

- [事務局] 伊勢原市教育委員会教育部社会教育課  
[開催日時] 令和5年9月1日(金) 午後2時～午後4時  
[開催場所] 伊勢原市立中央公民館3階 会議室A  
[出席者] 古里委員(議長)、石塚委員(副議長)、白鳥委員、岩崎委員、杉山委員、園山委員、久保菌委員、鶴田委員、細谷委員、今井委員、須永委員、山口教育長、大山教育部長、林図書館・子ども科学館館長、立花歴史文化推進担当部長兼歴史文化担当課長、社会教育課(杉山課長、尾上係長、田原主事)  
[欠席者] 板倉委員  
[公開の可否] 公開可  
[傍聴者数] 2名

[審議の経過]

1 開会

社会教育課係長

2 あいさつ

○山口教育長あいさつ

○古里議長あいさつ

3 議題

(1) 報告事項

令和5年度社会教育関係各課(館)の主な事業(下半期)について

(2) 協議事項

社会教育委員会議研究テーマについて

(3) その他

5 会議要旨

- |     |   |
|-----|---|
| 議長  | 議題の(1)報告事項の令和5年度社会教育関係各課(館)の主な事業(下半期)について、事務局から説明をお願いします。   |
| 事務局 | 配布資料に基づき、社会教育課長－歴史文化推進担当部長兼歴史文化担当課長－図書館・子ども科学館館長の順に、所管する事務、事業等について説明した。<br>[資料1] 社会教育関係各課の主な事業(令和5年度下半期分) |
| 議長  | ただいま、事務局から説明のあった内容について、御意見、御質問等があればお願いします。  |
| 委員  | 家庭教育講演会について山王中学校区は今年度も実施しないのでしょうか   |
| 事務局 | 山王中学校区の家庭教育講演会については、PTAからの要望もありまして、今年度も講演会を実施しないということで決定をされております。   |

- 委員 各公民館で行う事業は、教室、学級、講座が3本柱になると思います。学級は実施していないのでしょうか。
- 事務局 上半期に幼児家庭教育学級を中央公民館で実施しております。全4回で子育て中の家庭を対象とし、今年度はリトミックや防災等をテーマとして実施しています。
- 委員 学級はその1事業だけですか。
- 事務局 その他にも地区公民館で幼児家庭教育学級を実施しておりますが、上半期に実施しているため、今回の資料では記載されておられません。全体の数ですと教室や講座に比べ少ないです。
- 議長 学級が少ないのは、元から少ないのでしょうか。
- 事務局 元から少ないのですが、幼児家庭教育学級は、以前に比べて人数の規模も縮小しています。今年度も幼児家庭教育学級は定員まで申込が達していない状況です。
- 委員 個人的な意見ですが、学級活動が盛んだとその公民館の活性化につながると思います。ですから、学級活動をどう増やしていくか考えることが必要があると思います。
- 事務局 現在は情報がすぐ得られる時代で、学級活動の参加を推進するためにも魅力ある中身を考えたと思います。
- 委員 幼稚園でも未就園児を対象とした教室が開催されており、情報を得る場所が沢山あって参加者が分散していると思います。ニーズに合わせた内容を検討することが大切だと思います。
- 委員 誰もが学べる公民館であるために障がい者の方が参加しやすい工夫等はされていますか。
- 事務局 募集の段階で、あえて明記はしていません。明記しないことで、障がいのある方が講座等の参加を躊躇している可能性もあるので、募集方法について課内で検討したいと思います。
- 議長 障がい者の方が公民館で活動する際にサポートする仕組みはありますか。

事務局 障がい福祉課の方で、事前に申請することでサポートする仕組みがあると伺っております。もし、その制度を知らない人がいれば、ご案内したいと思います。

委員 事業のタイトルにある学級・講座・教室に違いについて、言葉の定義や法的概念等、社会教育上の要件があるのでしょうか。

議長 法的な定義はなく、基本的には各自治体の慣習によって決まっているのが現実だと思います。答えるのであれば伊勢原市ではどのように使い分けているのか説明をしていただく形になると思います。

事務局 昔からの慣習で決めていると思います。明確な取り決めや内規はありません。

議長 補足をすると、慣習になりますが、学級は比較的長期的な活動で同じメンバーで行う人格的な交流をしていく取り組みが多く、講座は専門家を呼んで知識の獲得をするような取り組みが多いと思います。

委員 今年、仏像の調査をしているということで、どこの仏像を調査しているのでしょうか。

事務局 現在三か寺予定をしており、上半期に下糟屋の南蓮寺を調査しました。下半期はこれからで、まだ実施できるか分かりませんので、調査が終了しましたらご報告いたします。

委員 講座や学級というのは全庁的に実施をしていると思います。生涯学習という視点から、それらを一覧表にして市民に提供することを考えていただけないのでしょうか。

事務局 一覧表という形で提供するとは、今お答えできませんが各課とも調整し、似たような形でできないか検討したいと思います。

議長 他にはよろしいでしょうか。それでは続いて（２）協議事項の社会教育委員会議研究テーマについて、事務局から説明をお願いします。

事務局 配布資料に基づき、社会教育委員会議研究テーマについて説明。  
**【資料２】社会教育委員会議研究テーマについて**  
**【参考資料】テーマ案等**

議長 それでは、各委員からテーマ案について、ご発言をお願いします。

- 各委員 配付資料を参考に、テーマ案について御自身の意見を発言。
- 議長 皆さまからのご意見について、上手く整理が出来ていないかもしれませんが、テーマ案としては大きく分けて4つに分けられると思います。1つ目が、地域学校協働活動の取組、2つ目が障がい者の生涯学習、3つ目が外国にルーツのある方の生涯学習、4つ目が社会的弱者・マイノリティーの生涯学習になるかと思っています。
- この4つをどう絞っていくか協議しないといけません、スケジュールとして2年間でなんらかの形にしていくことを踏まえてご意見をいただきたいです。
- 委員 地域学校協働活動に携わっており、現在校長先生が何を求めているのかを聞いて活動に取り組んでいます。社会教育委員の中にも現職の校長先生が2名いらっしゃってお二方の意見を参考に課題事項を把握したいと思います。
- 委員 要望はたくさんありますが、一番は子どもたちの安全面だと思います。登下校だけではなく、放課後の居場所づくりなど家に帰ってからの子どもたちの安心安全が保たれていくような地域があるというのが学校側も安心するし、そこは地域と連携したいと思っています。
- 委員 学校運営協議会の中で、中学生が地域の防災活動に参加して組織的に運営できると良いという話しが出ています。
- また、学校として個々に支援が必要なご家庭が非常に多く、放課後の担任の家庭訪問で回りきれない状況が生まれています。ただそれも個人情報でなかなかオープンにできないこともあり、中学校として負担となっているところで、関係各課と協力して進めておりますが、時間がかかってしまっている状況です。
- 議長 ただいま地域学校協働活動に関わるご発言をいただきましたが、その他に地域の課題等ご発言ありますでしょうか。
- 委員 障害のある子どもたちも特別支援学校では、文化祭などで地域も参加し交流しています。また、地域のお祭りには、小・中・高とともに作品展示などで参加し交流しています。それらをもっと実感できるようになれば良いと思います。
- 委員 民生委員の立場からお話しますと、外に出てこない高齢者が沢山いて、そういう高齢者との関わりを学校がもってほしいと思います。そういった高齢者を子ども食堂に連れて行くと参加している子どもたちを見ているだけで

嬉しそうにしています。子どもたちに訪問してほしいとは言いませんが、関わりをもってほしいです。

委員 自治会の立場からお話しますと、地域コミュニティから外れている方がいると安心安全なコミュニティというのは出来ないと思います。そういった方を公民館等をとおしてうまくコミュニケーションがとれると良いと思います。

事務局 行政の立場からすると、なるべく具体的な形で成果、アウトプットを出していきたいと思うので、是非その点も踏まえて研究テーマ案を協議していただきたいと思います。

議長 これまでのご意見で一つテーマを考えるなら「地域と学校が連携しながら子どもの育ちをどう支えていくのか」について議論・研究し2年後に社会教育委員として見解をまとめるのが良いのかなと思います、いかがでしょうか。

委員 回数も少ないのでなかなか具体的なところまでいかないと思うので、大きくまとめて色んな解釈ができる答えの出し方のほうがよいと思います。

委員 地域の様々な支援の必要がある人たちに手が差し伸べられる、そういう意識ができる場ができるように社会教育として働きかけていく必要があると思います。そういった色んな展開を残すためにもテーマは大きくした方がよいと思います。

委員 議長の提案したテーマですと、「どう支えていくのか」で終わってしまい、テーマの幅がせまくなってしまおうと思います。

議長 ここでテーマをきれいにまとめられないと思うので、持ち帰って整理したいと思いますが、方向性としては、「育ち合える地域コミュニティをどうつくるか」をテーマとして議論・研究するというところでいかがでしょうか。

委員 子どもたちを地域コミュニティに呼ぶことで、自然に地域の高齢者等も参加してくれると思います。

委員 地域にプールがあり、そこに子どもたちが来ると高齢者は、場所を空けたり、子どもたちに声をかけたりしています。私個人としては、地域コミュニティにスポーツや文化芸術等の媒体が一つでもあれば少しはコミュニティができるのではないかと思います。

議 長 育ち合える地域コミュニティを考えるにあたり、ただいまいただいたご意見を参考に今後議論したいと思いますが、今期の社会教育委員会議の研究テーマとしては、子どもも大人も含めて、あるいは障がい者や外国ルーツのある方も含めて育ち合える地域コミュニティをどうつくるか2年かけて議論し、何かの形にするという方向でよろしいでしょうか。

委 員 テーマは簡単な言葉にして、詳細な内容は、別に記載すれば良いと思います。

議 長 テーマとは別にテーマ設定についての趣旨を私の方で文章化して皆さんにお示しできたらと思います。また、今後具体的な調査等を皆様と考えなければならぬと思いますが、その進め方は事務局と相談してお示しできればと思います。

議 長 それでは続いて（3）その他について、事務局から説明をお願いします。

事務局 「神奈川県社会教育委員連絡協議会会誌のホームページ公開」について口頭で説明。

「第28回いせはら市展の結果」について配付資料に基づき説明。

「第59回伊勢原市民文化祭」について配付資料に基づき説明。

「令和5年度社会教育委員上半期の報酬」について口頭で説明。

議 長 よろしいでしょうか。それでは、これをもちまして本日の議事を終了いたします。この後の進行は、事務局をお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。

これで本日の日程はすべて終了いたしました。閉会にあたりまして副議長から一言御挨拶をお願いいたします。

副議長 閉会の辞

以 上